

活動成果報告書

令和5年度（第27回）「チヨダ地域保健推進賞」

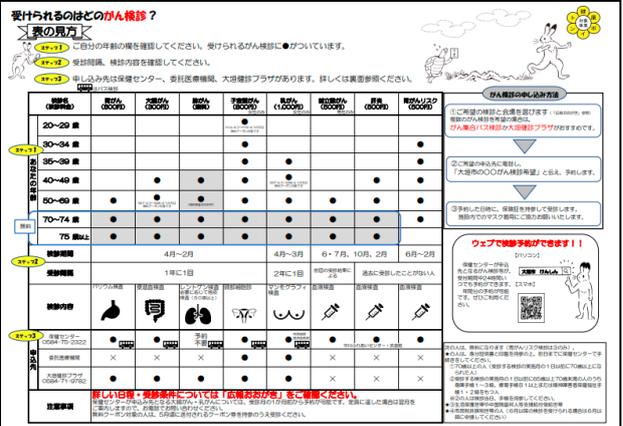
<p>活動テーマ がん検診に行っ得！ ～がん検診受診率向上に向けて～</p>	
<p>グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名) 大垣市保健センター 健康推進グループ 代表者：森 美幸</p>	
<p>勤務先：大垣市役所 所 属：健康福祉部 保健センター 所在地：〒503-0903 岐阜県大垣市東外側町2-24 TEL：0584-75-2322 FAX：0584-75-2320</p>	

◇活動方針

2人に1人はがんになると言われていますが、大垣市のがん検診受診率は岐阜県内でも低く、伸び悩んでいるのが現状です。がん検診の受診啓発をするため、全戸配布のリーフレットや特定の年齢に検診ガイドやはがきを送付し受診を促してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で受診率が低下しました。市民のがん予防への意識をさらに高めるため、これまでの受診啓発の内容・方法の見直しを図りました。

◇活動内容とその成果

- ・ナッジ研修会の実施
がん検診の重要性がより伝わるチラシ作りのため、健康づくり支援の手法であるナッジ理論の研修会を若手職員を中心に有志で行いました。これまで各担当でチラシ等を作成していましたが、研修会後はデザインやフレーズ等グループ内で活発に意見交換が行われるようになりました。
- ・全戸配布「がん検診に行っ得！」の見直し
毎年5月にがん検診の受診案内リーフレットである「がん検診に行っ得！」を全戸配布しています。情報量が多く、分かりづらいという意見も多かったため、掲載内容の見直しを行いました。特に動作指示を分かりやすくするため、年齢を上位に掲載したところ、申し込み手順が誰にでもわかるようになりました。



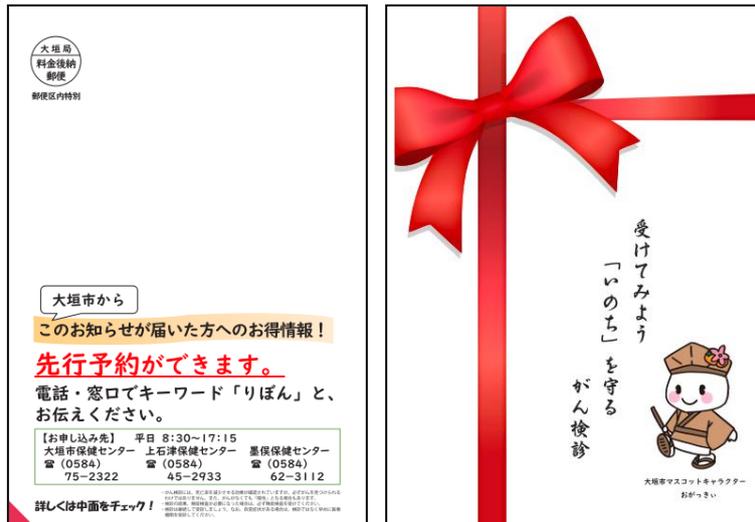
がん検診に行っ得！

活動成果報告書

・特定年齢へ送る検診ガイド、啓発はがきの見直し

40歳、60歳の方へがん検診についてのリーフレットを送付していましたが、受診率が大きく変わることはありませんでした。市のがん検診を受診しない理由として、他で受診機会がある方が約6割みえたため、送付年齢の見直しを行いました。また、リーフレットを封筒に入れて送付していましたが、他の郵便物に紛れて見てもらえていないことも考えられたため、A4サイズの粘着ハガキとし、目立つデザインで作成しました。例年に比べ送付後の予約電話が多く、反響を大きく感じました。

各検診で特定の年齢に送っている受診啓発はがきの内容・デザインについても見直しを行いました。掲載する情報を精査し、文字数やイラスト、デザインについても意見を出し合い、作成しました。



A4 圧着ハガキ

・再勧奨はがきの発送

前年度受診しているが、当年度未受診者に対して受診勧奨はがきの発送を開始しました。対象者の約1割の方のがん検診を受診いただきました。

・市役所や図書館でのパネル展示

市役所の掲示板と図書館に、年度始めと10月の受診率向上キャンペーンに合わせてパネル展示を行いました。図書館では関連図書も合わせて置いていただき、市民への受診啓発を行いました。



市役所掲示板



図書館

活動成果報告書

・けんしん動画の作成

特定健診・がん検診受診率向上のため国保医療課と協力し、けんしん啓発動画を作成しました。医師会会長、歯科医師会会長にも出演していただき、健診・検診の重要性についてわかりやく解説しています。イベント会場で放映したり、Youtubeに掲載しいつでも見られるようにしています。

・受診啓発イベントの開催

がん検診をより多くの市民に知っていただくため、5月に「ヘルシーおおがきフェア」をショッピングセンターで開催しました。大腸がんについて市内の健診機関の医師にご講演いただいたほか、理学療法士による健康体操、大腸がんクイズラリー、大腸トンネル、乳がん自己触診モデル体験などを実施し、多くの市民に参加いただきました。



また、10月には昨年度に引き続き、大垣市国民健康保険加入者の特定健診の集団検診時にごがん検診受診啓発イベント「がん検診に行っ得！」を行いました。結核・肺がん検診、大腸がん検診の実施、パネル展示、大腸がんクイズラリー、乳がん自己触診モデル体験、がん検診先行予約などを実施しました。



・街頭での受診啓発の実施

市内のショッピングセンター、市内で行われる祭で、がん検診啓発のティッシュ配布を行っています。

・がん検診に関する情報提供

市と連携協定を結んでいる保険会社、企業に対して、がん検診の日程、内容を情報提供しています。

◇今後の計画

大垣市のがん検診では、バス検診の他にも、市内医療機関や健診機関で受診できるよう、環境づくりを行っています。こういった利便性やがん検診の必要性をイベントや配布物で多くの市民に伝えていきたいと思っています。